

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-3_スポーツの振興と競技力の向上

基本計画		事業番号	細事業名称
5-03-01	生涯スポーツの振興	10113_16	地域スポーツ育成事業
5-03-01	生涯スポーツの振興	10113_21	知的障がい者児スポーツプログラム実践助成事業補助金
5-03-01	生涯スポーツの振興	10525_01	新居浜市文化スポーツ大会開催支援奨励金
5-03-01	生涯スポーツの振興	10542_01	あかがねマラソン大会開催事業
5-03-01	生涯スポーツの振興	10606_01	新居浜市スポーツ未来創造事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10113_02	新居浜市駅伝競走大会助成事業補助金
5-03-02	競技スポーツの振興	10113_17	各種全国大会出場奨励金
5-03-02	競技スポーツの振興	10431_02	競技スポーツ強化事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10442_01	学校スポーツトップアスリート事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10473_02	高校スポーツ強化指定校事業補助金
5-03-02	競技スポーツの振興	10567_01	ジュニアバドミントン交流事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10611_01	新居浜市合宿支援奨励金
5-03-03	施設環境の整備	10357_01	体育施設環境整備事業

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10113_16		
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費	細事業名	地域スポーツ育成事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	生涯スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	各校区体育振興会及び校区住民	数値	115920人			
	手段(どうやって)	各小学校校区に設置されている体育振興会もしくはそれに準ずる組織が、各校区で取り組むテーマを設定し、スポーツやレクリエーションを駆使して事業を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションを通じて市民が健康増進と地域の連帯感を深め、子どもたちの健全育成を推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,525	1,890	1,890	○委託料 1,890千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	1,525	1,890	1,890			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
スポーツ教室等参加人数		目標値	6500	6500		6500	
		実績	2957	3330		3381	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
コロナ禍に見られたような、計画の延期や中止は今のところ報告を受けていないため、順調に計画は進んでいると思われる。年間を通して活動を行っており、中間地点での参加者数は把握できない。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
子どもの運動離れや、高齢者の健康問題、地域コミュニティの希薄化等が社会問題化する中、運動やスポーツ大会を通じた各問題の解消を図る。校区体育振興会等に地域でのスポーツを企画し地域のつながりや、大会の参加などで達成感を得るなど、コロナ禍で低下したスポーツ・レクリエーション実施の回復を図るため、予算規模は現状維持とする。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
各校区の定例事業となり、スポーツ等の運動機会提供に一定の効果を発揮している。今後参加者の拡大については方法を検討していく必要がある。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	10113_21	
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費		細事業名	知的障がい者児スポーツプログラム実践助成事業補助金		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	生涯スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	知的障がい者児(スペシャルオリンピックス新居浜所屬)			数値	約30人	
	手段(どうやって)	すでに活動しているバドミントンプログラム以外のプログラムメニューの策定					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新たな競技プログラムを開発し、知的障がい者児が行うスポーツの幅を広げるとともに、サポートしてくれる方々の輪を広げる。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		22	190	190	○負担金補助及び交付金 190千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	22	190	190			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
年間を通じたプログラム活動数			目標値	24	24	24	
			実績	10	12	26	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
年間を通して、バドミントン・水泳・陸上等の競技練習・大会への参加などを行っている。また、交流会を行う予定であり現在活動中のため、中間での報告数は把握できていない。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
精神的・肉体的なハンディキャップがある中で、知的障がい者児がスポーツを通じて社会と関わりを持つことや、障がい者児のスポーツ認知を高める重要な機会の創出につながっていることから、引き続き予算方針は現状維持とする							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
令和5年度は中断していた水泳プログラムも再開され、複数のプログラムが実施された。本プログラムにより大会に参加するアスリートもおり、大会参加も含めた年間プログラム実施回数は目標の24回を上回る結果となった。引き続き事業を実施し知的障がい者児のスポーツ機会を提供していく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10525_01		
事業名(行目名称)		新居浜市文化スポーツ大会開催支援事業費	細事業名	新居浜市文化スポーツ大会開催支援奨励金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	生涯スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	本市で開催される参加者100名以上、かつ県外参加者25名以上の大会	数値	10大会			
	手段(どうやって)	新居浜市で開催される参加者100名以上、かつ県外参加者25名以上の文化・スポーツ大会に対して、上限100,000円として大会開催奨励金を支出する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市において大きな文化・スポーツ大会が開催されることにより、本市の芸術文化及びスポーツの振興を図るとともに、地域経済活性化へ寄与する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		300	800	800	○報償費 800千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	300	800	800			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
大会開催数		目標値	8	10	10	10	
		実績	0	3	7	8	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
申請数は7件と昨年度以上の申請数があり、認知度は高まってきている。中間時でほぼ予算上限額に達する結果となっているため、補助率を設けるなどを検討し、多くの団体が補助をうけられるような形を検討したい。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
多くの大会開催が新居浜市で開催され、さらに定着するよう現状を維持する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
事業の認知度が高まり、本制度を利用した大会開催も増加している。ただし、今後は財政状況に応じた予算規模、補助条件などの見直しを行う。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10542_01		
事業名(行目名称)		あかがねマラソン大会開催事業費	細事業名	あかがねマラソン大会開催事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	生涯スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	マラソン大会参加者	数値	1800人			
	手段(どうやって)	市民マラソン大会をリニューアルさせた「あかがねマラソン」を、山根公園を主会場にハーフマラソンコースをメインに参加者1800人規模のマラソン大会を開催する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	一人でも多くの市民の参加を得て、市民がスポーツをするきっかけづくりを提供する。また、市外県外からの参加者を得て、スポーツツーリズムによる地域経済活性化へ寄与する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		5,168	5,164	5,164	○職員手当等 448千円 ○負担金補助及び交付金 4,716千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	5,168	5,164	5,164			
	一般財源	0	0	0			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
大会エントリー者数		目標値	1000	1800	1800	1800	1800
		実績	886	937	910	910	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
新型コロナウイルス感染症による制約が緩和され昨年並みの参加申込のもとに大会の開催に向けて準備中であるが、本市のスポーツ振興と地域経済の活性化に寄与する事業として定着しつつあるが、今年度の警察書との協議の中で現行の別子山線コースについては中止要請があり、次年度以降の開催方法について見直しが求められている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
事業内容の大きな見直しが行われている中で、従来どおりに全国から参加者を募ることができる開催手法を検討し、警察署とも入念に協議を行いながら、次年度以降についても継続して開催する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
あかがねマラソンについては、特徴あるコースによりコアなランナーが参加し、県外からの参加者も多く集まってきている。令和6年度については、今年度実施したコースでの道路使用許可は許可されないため、コースの再検討が必要である。また、コロナ禍以降開催できていなかった小学生のマラソン実施についても検討する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	10606_01	
事業名(行目名称)		新居浜市スポーツ未来創造事業費		細事業名	新居浜市スポーツ未来創造事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	生涯スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民			数値	117,439人	
	手段(どうやって)	軽スポーツの普及、競技者の裾野を広げるため、指定管理者が実施している自主事業の拡充を図る。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	指定管理者が新居浜市のスポーツの中心的な役割を担うことで地域スポーツの活性化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		10,487	11,294	11,294	○委託料 11,294千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	10,487	11,294	11,294			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
自主事業参加人数			目標値	5000	5000	2500	5000
			実績	1592	3036	1562	3521
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
昨年実施した教室で参加者数が少ない事業などは見直しを行い、参加者の増加を図っている。低年齢向けのスポーツ体験教室は好評で、定員に達する回もある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
指定管理者の自主事業を拡大し、スポーツの裾野を拡大していく目的で実施してきた。3年間実施してきたこれまでの経験を活かし、自立した自主事業に移行するため次年度以降は予算措置は行わない。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
軽スポーツ、競技者の裾野の拡大、運動機会の提供を目的に事業を実施、未就学児(年中)～小学校低学年を対象としたスポーツ体験会は競技団体の協力も得られ、参加者の評価も良いものであった。令和3年度からの3年間のノウハウを生かし、令和6年度からは本事業の経費による実施ではなく、指定管理者の自主事業として評価の高い事業を継続して行っていく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	10113_02	
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費		細事業名	新居浜市駅伝競走大会助成事業補助金		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市駅伝競走大会エントリーチーム			数値	33チーム	
	手段(どうやって)	参加者を増加させるべく、関係団体への参加呼びかけ、参加しやすい競技要項への変革を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	協会、地域、学校、行政が一体となって駅伝大会を実施することにより、青少年の体力向上及び市民の健康増進意識の高揚を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		281	300	300	○負担金補助及び交付金 300千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	281	300	300			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
参加チーム数(チーム)			目標値	33	33	33	
			実績	33	27	27	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
<p>新居浜市陸上協会により、11月の大会に向けて準備を進めている。中学校以外のチームがどれだけ参加してくれるかが課題。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
<p>本市の掲げる「駅伝の町にいほま」の推進のため、また全国大会で活躍する中学生のモチベーションを保つためにも大会は継続するが、現状中学校以外の参加が見込めないため、大会のあり方を変更し、予算規模を縮小する。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
<p>市内中学校から男女合わせて27チームのエントリーがあった。新居浜市駅伝大会兼中学校駅伝大会としての開催であるが、中学校以外の参加チームが出ていない現状であり、新居浜市陸上競技協会の負担も考慮し、新居浜市中学校体育連盟の事業として実施していく。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	10113_17	
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費		細事業名	各種全国大会出場奨励金		
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	全国大会・国際大会出場選手		数値	約500人		
	手段(どうやって)	全国大会へ出場する選手等へ1人10,000円、国際大会へ出場する選手等へ1人30,000円の奨励金を支出する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	予選大会を勝ち抜いて、全国大会や国際大会へ出場する選手への奨励金を支出することで、今後の選手への励みとなり、本市の競技スポーツの向上と推進を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		6,240	3,000	3,000	○報償費 3,000千円		
財 源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	6,240	3,000	3,000			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
全国大会・国際大会出場者数			目標値	480	500	300	300
			実績	362	616	150	366
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
一般の出場者には奨励金の支出は行わないこととし、学生以下を対象とした。また、年間の受領回数も2回までと制限し、予算規模を変えずに、多くの人が受け取れるよう変更した。 全国大会出場者148人、国際大会2人							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
個人競技・団体競技含め様々な種目からの申請があり、本事業のニーズは高い。また、学生らの全国大会出場状況について把握するツールにもなっているため、現状を維持して継続していく。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
令和5年度申請数366名(うち国際大会25名)であった。コロナ禍前の状況に戻り、多くの申請があった。令和5年度からは、対象者を大学生以下に限定し、全国大会へ出場する子どもたちの意欲向上と家庭への経済的負担軽減を図った。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10431_02		
事業名(行目名称)		競技スポーツ強化事業費	細事業名	競技スポーツ強化事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	国民体育大会関連種目協会の選手及び指導者	数値	22団体			
	手段(どうやって)	それぞれの種目協会と連携して強化練習や指導者講習会等を開催する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	ジュニア育成、競技力向上を図り、本市選手が国体で活躍できる環境を整える。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,767	1,900	1,900	○負担金補助及び交付金 1,900千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	1,767	1,900	1,900			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
事業実施競技団体数		目標値	10	10	10	10	10
		実績	8	9		9	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
本市におけるジュニア選手の育成について強化を図り、国体等で活躍できる選手の輩出を目指して本市の各種目競技について底上げをする環境を整えるため、スポーツ協会を中心として各種目協会に補助配分をしているが、活動内容の更なる充実を図る。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
各種目競技のジュニア育成には一定の効果を上げており、ジュニア選手の全国規模の大会出場等も目立ってきていることから継続していくことが必要である。また、セーリングについてもえひめ国体におけるレガシーの継承として本市に根付きつつあるため継続して支援していくことが重要と考える。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		D:事業の統合・廃止を検討				
種目協会のみならずスポーツ協会を通じてジュニア世代や指導者の育成を支援し長期的な競技力向上を目指し、種目によっては全国大会への出場選手が輩出されるなど、徐々に成果が出ている。財政的な問題から令和6年度以降は事業を廃止する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10442_01		
事業名(行目名称)		運動部活動競技力向上事業費	細事業名	学校スポーツトップアスリート事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内中学生及び高校生対象部員		数値	約1700人		
	手段(どうやって)	トップアスリートを招聘し、トレーニングの実践及びトップクラスの専門的技術指導、また講義も含めた幅広い講習会を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	トップアスリートを招聘し、生徒たちの競技力の向上及び指導者の指導力向上に努め、体力低下に歯止めをかけるとともに、個々の種目においての競技力の向上を図る。また、将来的に全国大会で活躍できる選手育成や選手強化に結び付けていく。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,960	2,989	2,989	○報償費 1,230千円 ○旅費 1,291千円 ○需用費 99千円 ○委託料 369千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	543	1,000	1,000			
	一般財源	1,417	1,989	1,989			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
県大会出場校の上位入賞率		目標値	40	40	40	40	
		実績	24.3	21.6		21.6	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
国内のトップアスリート又はトップコーチを招聘し、中高生及び指導者を対象として競技力の向上や指導力の向上を図り、全国レベルの選手育成や部活動の活性化に寄与しており、バドミントンや陸上競技においては着実に成果をあげており、トップ選手も出始めている。対象競技や実施内容に関する調整等を行いながら今後も継続していくこととしたい。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
事業の成果が出ていることから、今後も継続していくことが重要であるため、予算規模については現状を維持することとしたい。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
野球、バドミントン、ハンドボール、陸上(駅伝)について事業を実施した。ハンドボールでは工業高校が全国大会出場を決めるなど、成果が出てきている。引き続き事業を行い、生徒の競技力向上を目指す。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10473_02		
事業名(行目名称)		学校スポーツ活性化事業費	細事業名	高校スポーツ強化指定校事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内高校指定運動部	数値	7部活動			
	手段(どうやって)	市内の各高校が強化を希望する部活動のうち、市が認めたものを強化指定校(部活動)として補助金を支出する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	全国大会出場常連校など、市内の中学生アスリートが進学したいと思うような、魅力ある高校部活動を目指して、競技力の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 4,275千円	
経費		4,264	4,275	4,275			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	4,264	4,275	4,275			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
全国大会出場部活動		目標値	7	7	7	7	7
		実績	5	6		5	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
市内の各高校の部活動強化のため、全国大会等の出場実績に応じて支出し、強化合宿や遠征等を実施する中で競技力の向上が図られ、今年度のインターハイでも一定の成果をあげているが、指定校間には成果内容に差異があるため、一定期間は継続することが必要。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
強化指定校の成果を評価するためには一定期間の継続が必要であるが、高校部活動強化事業(トップアスリート事業)との整合性を図って効率的な経費の見直しを行う。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
指定部活動が遠征や強化合宿を行い、競技力の向上を図ることができた。特にウエイトリフティングでは、インターハイへの出場や全国大会入賞など、事業の実施により一定の成果が表れている。当事業を活用してより質の高い充実した練習環境による競技力の向上を図っていく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	10567_01	
事業名(行目名称)		ジュニアバドミントン交流事業費		細事業名	ジュニアバドミントン交流事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	ジュニアバドミントン交流大会			数値	1大会	
	手段(どうやって)	大府市と新居浜市において隔年で主催を持ち回り、ジュニアバドミントン交流試合を行うことで、両市の交流を推進する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市と大府市のジュニアバドミントン交流試合を継続的に開催することで、選手及び指導者の交流を深める。ひいては、本市ジュニア選手の育成及び競技力の向上を目指すとともに、大府市との交流をさらに深化させていく。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		465	1,506	1,506		○報償費 47千円 ○旅費 125千円 ○委託料 1,334千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
一般財源		465	1,506	1,506			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
事業開催数			目標値	1	1	1	
			実績	0	1	1	1
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
本年度は第3回目の交流大会として8月18日～20日の間大府市にて交流事業を行った。実業団チームの選手からコーチングを受け、色々な話を聞くことができ、充実した練習ができていた。交流大会では残念ながら大府市に負ける結果となったが、最終日はお互いに名前を呼び合うなど、子ども達は打ち解けあい、大府市との交流を深めることができたことを実感した。バドミントン競技で交流を行ってきたが、バドミントンにこだわらず、色々な形で交流を行ってけるよう検討する必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
大府市と新居浜市の持ち回りで毎年開催しているが、次年度はいったん休止して、新たな交流の方法を検討することとしたい。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	B:事業の進め方の改善検討				
令和5年度は本市より選手・引率者等29名が大府市へ赴いた。合同練習や大府市のジュニア選手との交流大会、大府市バドミントン連盟との交流など、大府市との都市間交流を深めることができた。今後もバドミントン交流を継続するのか、あるいは、他のジャンル等で交流をするのかなど長期的な方向性は検討していく必要がある。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	10611_01	
事業名(行目名称)		新居浜市合宿誘致事業費		細事業名	新居浜市合宿支援奨励金		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市外のスポーツを行う団体			数値	約1000人	
	手段(どうやって)	1回のスポーツ合宿において10万円を限度として支出する。 (延べ宿泊数に1泊あたり1000円(簡易宿泊施設は500円)を乗じて得た額)					
	目的(どんな状態にしたいのか)	スポーツ団体等が市内体育施設を活用したスポーツ合宿を実施することにより、本市のスポーツ振興や地域経済活性化、交流人口の増加を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		486	700	700	○報償費 700千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	243	700	700			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
合宿宿泊者数(延べ)			目標値	1000	1000	500	1000
			実績	0	258	295	456
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
<p>今年度は現時点で3件の申請があり、問い合わせも寄せられている。練習施設(体育館等)は土日の大会開催などで利用予約が入っていることが多く、週末の合宿を受け入れることが難しい。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>市内宿泊による経済効果も見込めるため引き続き現状維持で事業を実施していく。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>令和5年度は5件の申請があり、合計で148人参加、延べ456泊であった。引き続き市内の体育施設、宿泊施設を利用した合宿を誘致、定着させていき、市内施設利用促進と経済活性化を図って行きたい。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	10357_01
事業名(行目名称)		体育施設環境整備事業		細事業名 体育施設環境整備事業		
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	施設環境の整備		担当課 スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要						
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	新居浜市民			数値	115920人
	手段 (どうやって)	施設及び設備の設計委託と改修。備品の更新及びルール変更に伴う新規購入。				
	目的 (どんな状態にしたいのか)	施設修繕等を行い適正な施設の管理運営を図り、体育施設を利用する市民の利便性の向上や快適な使用環境を提供し、施設利用者の増加を図る。また、施設の不備による臨時の休館をしないように適正な管理をしていく。				
III 投入費用						
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		14,412	271,080	271,080		○職員手当等 55千円 ○委託料 8,701千円 ○工事請負費 261,829千円 ○備品購入費 495千円
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債	10,100	237,700	237,700		
	その他	900	32,830	32,830		
	一般財源	3,412	550	550		
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度
体育施設利用者数			目標値	400000	400000	200000
			実績	244922	380641	235053
—						
V 事中評価						
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			高い
予定していた工事については予定どおり発注することができた。各体育施設の改修等工事により、快適にスポーツを行える環境の整備が進められる。						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
各体育施設の老朽化は進んでおり、利用者に安心・安全に施設を利用してもらい、今後も長く使用するためには多くの改修が必要であるため現状を維持する。						
VI 事後評価						
成果		総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当		
市民体育館内部・外部の改修工事、市営野球場防球ネット・ウインチ更新工事、山根屋内プール熱交換器更新工事を行った。体育施設の老朽化が進む中で、利用者の安全、施設の長寿命化を確保するため改修工事を計画的に実施して行く。						

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)			数値			
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				